

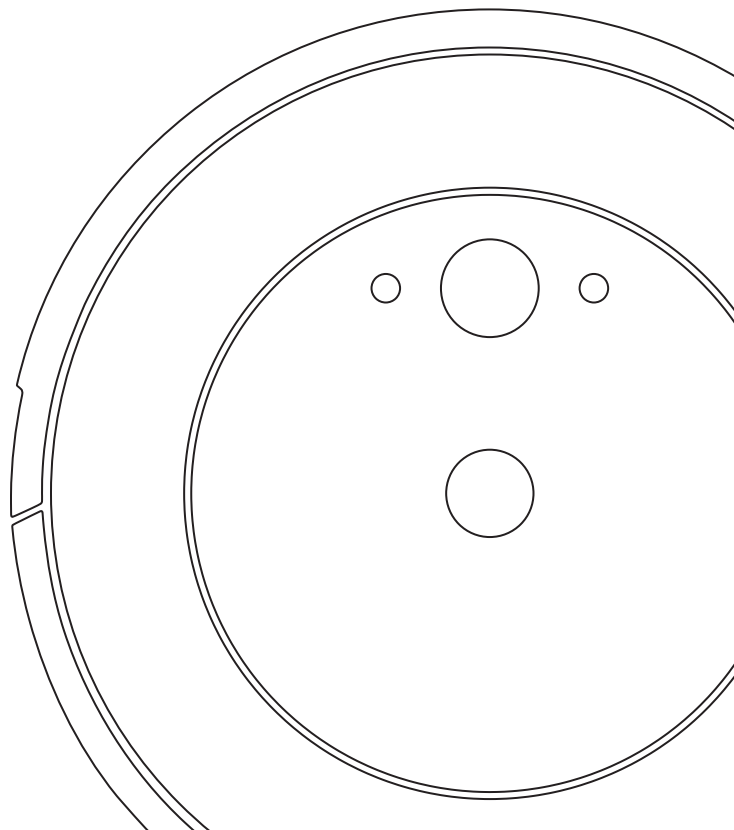
Roomba Combo™

Essential

robot ・ ロボット

取扱説明書

iRobot



安全上のご注意

安全に関する重要な情報

この取扱説明書には、次の規格管理番号に該当する製品情報が記載されています。ロボット: RVG-Y1 | 充電ステーション: ADN-N1 | バッテリー: ABL-G | ロボットの無線モジュール: ESP32-S3-WROOM-1

 この取扱説明書は大切に保管してください
危険: 電化製品を使用する際は、以下の基本的な注意事項に必ず従ってください。

 説明書をすべてお読みください
危険: ケガや損傷のリスクを低減するために、ロボットの設定や使用、お手入れの際には次の安全上のご注意をお読みの上、指示に従ってください。

本製品は、身体、知覚、理解の能力が低下している方、一般的な経験や知識のない方、小さなお子様による使用を想定して設計されたものではありません。そのような方がご使用になる場合は必ず、安全に責任のある方の監督、指導の下でご使用ください。お子様が製品で遊ばないようにご注意ください。

 安全上の警告を示す記号です。負傷につながる可能性を警告します。
人身事故を防ぐために、必ず、この記号に続く安全上のメッセージに従ってください。

 感電のリスク

 屋内専用

 定格出力 (DC)

 取扱説明書を読むこと

 一般的なりサイクル記号

 火事のリスク

 クラスII機器

 定格入力 (DC)

 お子さまの手の届かない場所に置くこと

 取り外し可能な電源

 警告

 クラスIII機器

 定格入力 (AC)

 バッテリー充電器

 DC電源プラグの極性

危険:回避しないと、重度の人身事故を招く恐れのある危険な状況を表しています。

警告:回避しないと、軽度または中程度の人身事故を招く可能性がある危険な状況を示しています。

注意:回避しないと、床・家屋・家財等の損害の原因になる危険な状況を示しています。

一般



- 本製品には、お住まいの地域で承認された電源コードが付属しており、家庭用コンセントにのみ差し込むことを想定して設計されています。他の電源コードは使用しないでください。電源コードを交換する場合は、お住まいの地域で使用可能な電源コードを確認するために、アイロボットサービスセンターまでお問い合わせください。
- 取扱説明書に指示されている場合を除き、本製品を分解したり、開けたりしないでください。これらの内部にはお客様が修理できる部品はありません。修理が必要な場合は、資格を持つサービス担当者にご連絡ください。
- 本製品には資格を持つサービス担当者のみが交換可能な電池が内蔵されています。
- 感電のリスクを防止するために、必ず濡れていない室内で使用してください。
- 濡れた手で製品に触らないでください。
- 本製品は玩具ではありません。ロボットを使用する際には、小さなお子様やペットに注意してください。ロボットや充電ステーションの上に座ったり、立ったりしないでください。
- 製品の上に座ったり、立ったりしないでください。
- 製品は室温で保管し、使用してください。
- 充電器は必ず純正品を使用してください。純正品以外の充電器を使用すると、バッテリーの過熱、発煙、発火、爆発にいたる可能性があります。
- 清掃する部屋にバルコニーがある場合は、本製品がバルコニーに出ないようドアを閉めるなど、物理的に遮る必要があります。安全に配慮してご使用ください。
- 清掃する部屋にストーブ、扇風機、小型ヒーター、加湿器などの機器がある場合は、使用前に移動させてください。ロボットが接触して機器を押したりすることにより、損傷、事故、誤動作を招くおそれがあります。

- ロボットや充電ステーションを濡らさないようにしてください。
- 段差センサーの汚れを清掃してください。
- ロボットによる水拭き掃除後は床が滑りやすくなっている場合がございますのでご注意ください。
- 温水、認定済みでない洗剤、消毒剤などの液体はロボットの故障の原因となる恐れがあるので追加しないでください。



- 電源コンセントまたはガスシャ断弁が露出している床での使用は避けてください。
- 本製品を、とがったもの、ガラス、燃えているものや煙が出ているものの清掃には使わないでください。
- ロボットは自走式です。ロボットが清掃している場所を歩くときには、誤って踏まないようご注意ください。
- ロボットが電源コードを引っ張ると、テーブルや棚の上にある物に引っかかり、落下する恐れがあります。ロボットを使用する前に、床から衣類、紙類、ブラインドやカーテンの紐、電気コード、その他の壊れやすいものを取り除いてください。ろうそくの火を消してください。小型ヒーター等をオフにしてください。
- ロボットと充電ステーションを安全にご使用いただくために、取扱説明書の記載に従って必要なお手入れを行ってください。
- 階段のあるフロアでロボットを使用する際には、階段口付近の物品を安全な場所に移動してください。
- 掃除機&床拭き対応ダスト容器を取り付けた状態でロボットを裏返さないでください。

注意

- ロボットは、濡れていない床でのみご使用ください。濡れたものをロボットで吸わないでください。ロボットや充電ステーションを濡らさないようにしてください。
- ロボットや充電ステーションの上に物を置かないでください。
- 充電用端子が汚れていると、ロボットのバッテリーを正しく充電できないことがあります。また、接続部が発熱するおそれがあります。

- ・フローリングでロボットを運転する前には、狭い範囲で試運転し、その床でロボットを使用できることを確かめてください。使用に適していない素材の床を清掃しようとすると、その床を傷つけてしまう可能性があります。ロボットで清掃してもよいかどうかは、フローリングの製造元にお問い合わせください。
- ・カーペットやラグの上でロボットを運転する前に、ロボットについているブラシが使用できるカーペットやラグであることを確認してください。使用できないカーペットやラグをロボットで清掃しようとすると、カーペットやラグを傷つけてしまう可能性があります。ロボットで清掃してもよいかどうかは、カーペットやラグの製造元にお問い合わせください。

充電ステーション



- ・本製品が正常に動作しない場合や、落下、破損、屋外放置した場合、または水に落とした場合は、サービスセンターにご返却ください。
- ・コードやプラグが破損した充電ステーションは使用しないでください。コードやプラグが破損した場合は、交換する必要があります。
- ・清掃やお手入れの際は、必ず充電ステーションからロボットを取り外してください。
- ・充電ステーションを踏み台として使用しないでください。
- ・ロボットを充電する際は、必ず製品に付属の電源を使用してください。この電源は、ロボットの安全な動作のために必要な入力電圧にあわせ、変圧された低い電圧を使用しています。
- ・ロボットが落下する危険を防ぐため、充電ステーションは階段から1.2メートル以上離れたところに設置してください。
- ・充電ステーションの表面や内部に液体がかからないようにご使用ください。

注意

- ・電力変換器は使用しないでください。電力変換器を使用すると、保証が無効になります。

- ・落雷の多い地域にお住まいの場合は、追加のサージ保護装置を使用することを推奨します。サージ保護装置を使用すると、激しい落雷による被害から充電ステーションを保護できる場合があります。

洗剤



- ・温水、洗剤、消毒剤などの液体はロボットの故障の原因となる恐れがあるので追加しないでください。

バッテリー



- ・開けたり、壊したり、80°C (176°F) を超えて加熱したり、焼却したりしないでください。取扱説明書の記載に従って、使用、お手入れ、取り扱い、破棄を正しく行ってください。
- ・金属類をバッテリー端子に近づけたり、液体に浸したりして、バッテリーをショートさせないでください。バッテリーに機械的衝撃を与えないでください。
- ・リチウムイオンバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーを内蔵する製品には、厳しい輸送規制が適用されます。この製品（バッテリーを内蔵したものを）、業務、旅行、その他の理由で輸送する場合は、必ず、取扱説明書の「困ったときは」を参照するか、その手順についてアイロボットサービスセンターにお問い合わせください。

- 破損や液漏れのあるバッテリーパックは充電しないでください。液が身体に付いたり目に入ったりしないように注意してください。液が身体に付いたり、目に入ったりした場合は水でよく洗い流し、医師に相談してください。バッテリーは、密封できるビニール袋に入れ、お住まいの地域の環境規制に従ってリサイクルするか、安全に廃棄してください。
- バッテリーパックは清潔で乾燥した状態に保ってください。

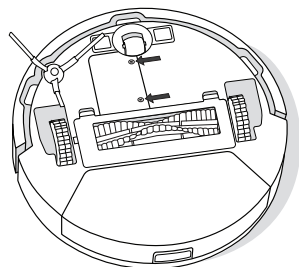


警告

- お子様がバッテリーをいじらないようにご注意ください。セルやバッテリー端子を飲み込んでしまった場合は、すぐに医師に相談してください。

注意

- バッテリーパックはリサイクルまたは廃棄する前に、ロボット本体から取り外してください。
- リサイクルまたは廃棄するためにバッテリーにアクセスするには、2本のネジを緩めます。バッテリー取り付け部のカバーを取り外し、バッテリーケーブルを外します。



バッテリーのこの記号は、分別されていない一般廃棄物と一緒にバッテリーを廃棄してはならないことを示しています。お使いの機器の使用済みバッテリーは、お客様が責任をもって、次のように環境に配慮した方法で廃棄してください。

- (1) バッテリーを処分・廃棄する場合は、お住まいの地域の廃棄ルールに従ってください。
- (2) 指定の回収場所に届ける

使用済みバッテリーを処分する際、分別回収に出して再利用すると天然資源の節約につながります。このようにして出された使用済みバッテリーは、人間の健康や環境に害を及ぼさない方法でリサイクルされます。詳細については、最寄りのリサイクル関連機関または本製品を最初に購入した販売店にお問い合わせください。使用済みバッテリーを適切に廃棄しないと、バッテリーや蓄電池内の物質が原因で、環境や人の健康に悪影響を及ぼす可能性があります。

ルンバ / ルンバ コンボの使用上のご注意

本製品は一般家庭用の製品です。ほかの用途にはご使用になれません。また、本製品は自立走行する電化製品であるため、ご使用に際しては、ご利用環境に注意を払っていただく必要があります。

本製品を快適に、より安全にご使用いただくため、以下の注意事項をよくお読みください。

使用できない場所

次のような場所で本製品を使用すると、敷物や床材を傷めたり、本製品が故障する可能性があります。

傷みやすい敷物や床材、壁材

- 毛足の長いカーペット
- デリケートなカーペットやムートン、フェルト素材の敷物、畳
- 柔らかい材質や黒および濃い色のフローリング床面
- ワックス塗りたて、またはフロアコーティングをしたフローリング床面（ご使用前に施工業者にご相談ください）
- デリケートな建材（漆喰やけいそう土などの塗り壁）ロボットが故障しやすい場所
- 毛足の長いカーペットの上、ふとん、毛布、マット、ベッド
- 高く不安定な場所、風呂場などの濡れた場所
- ストーブなど高温になる機器の周辺
- タイル張りの床、大理石等の石材の床、コンクリートの床、屋根裏、石畳、屋外、倉庫、工場、ロボットが落下する恐れのある場所
- 吹き抜けに面し、落下防止柵のないロフト
- 急こう配の階段
- テーブルの上など狭くて高い場所など事前に準備（片づけ、移動）が必要なものや場所安全かつ快適にご使用いただくためのご注意として、清掃の前に、壊れやすい物、吸い込まれると困る物は片づけてください。とりわけ、スケジュール機能やiRobot Homeアプリなどを使用して外出時に清掃を行う場合は、入念に事前準備を行ってください。

保護する必要があるもの（本製品が振動を与えたり接触する可能性があります）

- 漆塗りなど傷のつきやすい光沢のある家具や置き物、屏風など
- 軽い振動で倒れたり壊れたりしやすい陶磁器類、ガラス 工芸品類、姿見など
- 机や台などが受けた軽い振動により、破損や落下する恐れのある陶磁器類など
- 吸い込まれやすいもの（アクセサリなど）

片付ける必要があるもの

- 水、油（食用油、機械油など）、揮発性の高い液体類（アルコール、ベンジン、ガソリンなど）を含むすべての液体
- ペットなどの排泄物
- タバコ、ろうそく、線香などの火気
- 粘着性のあるもの（粘着式の害虫駆除シートなど）
- 布団、座布団、クッションなど
- 書籍、冊子、雑誌など

- 電気機器やパソコンのコード → 絡まないようにまとめてください
- カーペットやマットの端の長い房など → 内側に折り込んでください
- 床につくほどの長いカーテン → 持ち上げてまとめてください

移動する必要があるもの

- 電気ストーブ、扇風機などの電化製品 → 電気コードを抜いて移動してください。ロボットが衝突して機器が移動・転倒し、火災や破損につながる可能性があります
- 床面近くに操作部のある機器

落下防止のための注意が必要な場所

- 階段、踊り場、ロフトなど
- 玄関の上がりかまちなど上記のような段差のある場所では、iRobot Home アプリから進入禁止エリアを設定または物理的な障害物を設置してください。

本製品の動作を妨げる場所

- 高さ 10cm 未満の狭い場所を、ロボットは走行できません。ロボットの通路をふさぐものを、あらかじめ移動させてください。
- 床の敷居や段差などは、高さにより本製品が乗り越えられない可能性があります。走行中に引っ掛かってしまう場合には、本製品が入り込まないように準備してください。
- 床材の色が黒系統もしくは濃い茶系統の場合、センサーが誤認識して、前に進まなくなることがあります。

Precision Vision ナビゲーション機能

上記に関わらず、Precision Vision ナビゲーション機能を搭載したシリーズで、iRobot Home アプリに接続し、障害物検知が自動（推奨）の状態でご使用の際には、以下の回避する対象は障害物と認識し回避しますので、事前の片づけや移動は必要ありません。

ただし、前面カメラセンサーが物理的に覆われている場合や極端に暗い部屋では障害物の検出が正常に作動しない可能性があります。また、マッピングラン（マップを作成するための走行モード）時は清掃と障害物の検出は無効となりますので、床にコードやペットの排泄物などの障害物がない状態で行ってください。

回避する対象：コードやケーブル、ペットの排せつ物※1、靴やスリッパ、靴下、ファブリック、衣服、リュックサック、ペットの食器、猫用トイレ、ペットのおもちゃ（ボールやロープなど）、犬・猫。回避する対象は、順次アップデートされます。

※1：犬または猫の固形の糞のみ（毛玉や吐しゃ物、液体は対象外になります）。

その他、使用上の注意として、お留守の時などセキュリティシステムが稼働している状態では、清掃中の本製品が「侵入者」と認識され、セキュリティシステムが作動してしまいますので、ご使用はお控えください。

バッテリーの正しい使いかた

本製品は内蔵されたバッテリーで動作します。使いかたを誤ると、バッテリーの寿命が大幅に縮んだり、バッテリーが破損することがありますので、以下をよくお読みになり、バッテリーを正しくお使いください。

注意 次の行為は、バッテリー破損の原因になります

- 落下などにより強い衝撃を与える
- 電源コンセントに接続されていない充電ステーションに、本製品を接続する
- 充電ステーションに接続せず、バッテリーを本製品に入れたまま1か月以上放置する
- 取り外したバッテリーを、6か月以上放置する
- 直射日光が当たる場所や高温の場所に、バッテリーを放置する
- 充電中に、本体裏面バッテリー格納部周辺が熱くなる場合があります。そのようなときは、十分に冷めるまで待ってから、ロボットを使用してください。
- ロボットの電源が切れていても、バッテリーは少しずつ消費されます。ロボットを使用しないときは、充電ステーションに接続し、充電してください。
- ロボットを1ヶ月以上使わないときは、バッテリーを満充電にしたあとで、ロボットを出荷モードにして電源を切り、涼しく乾燥した場所に保管してください。出荷モードにできない、またはしたくない場合は、バッテリーをロボットから取り外し、涼しく乾燥した場所に保管してください。また6ヶ月に1回はバッテリーを満充電してください。
- 充電せずに長時間放置したときは、過放電によりバッテリーが破損している可能性があります。
- バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店、または協力自治体へお持ちください。安全のため、端子部が隠れるようにセロハンテープなどを貼ってください。
- JBRC <https://www.jbrc.com/>



電波に関するご注意

- 製品の無線回路を分解または改造すると、法律で罰せられることがあります。
- 以下の機器や無線局は、一部製品に搭載されているものと同じ 2.4GHz 周波数帯の電波を利用しています。
 - 産業・科学・医療用機器（電子レンジ、無線 LAN 機器、防犯機器、心臓ペースメーカーなど）
 - 免許を要しない無線局（特定小電力無線局）
 - 免許を要する無線局（工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、アマチュア無線局）
- 以上の機器や無線局の近くで製品を使用した場合、電波干渉が発生する場合があります。
- 心臓ペースメーカーなどの医療用機器に影響が及んだ場合、すみやかに製品からバッテリーを抜いてください。
- 特定小電力無線局、構内無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合は、アイロボットサービスセンターにお問い合わせください。

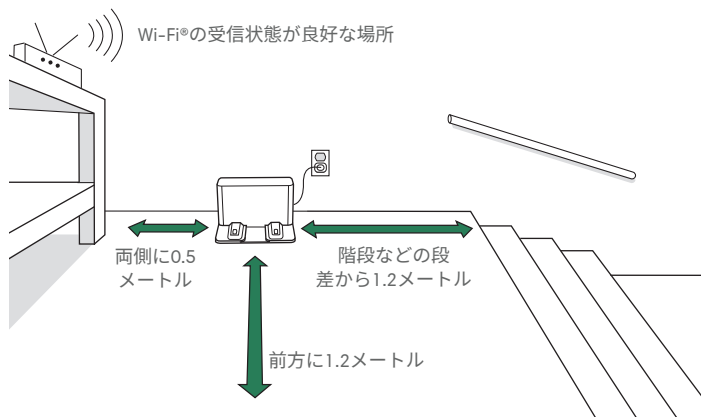
外部電源

お住まいの地域で承認されている外部電源アダプタモデルのみを使用してください。

モデル番号	地域
APA-JP	JP

はじめに

1 充電ステーションを配置する

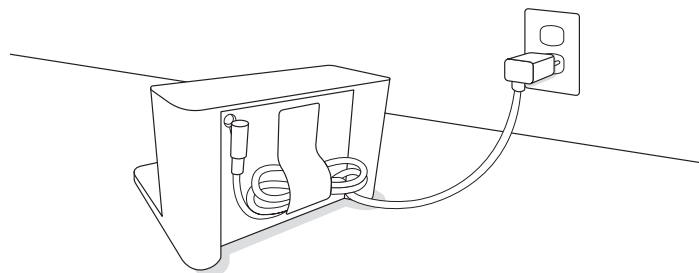


メモ: 充電ステーションを硬質の床面に設置します。直射日光が当たる場所には配置しないでください。ドッキングがスムーズに行われるよう、充電ステーションの周りを片付けてください。



危険: ロボットが落下する危険を防ぐため、充電ステーションは階段から1.2メートル以上離れたところに設置してください。

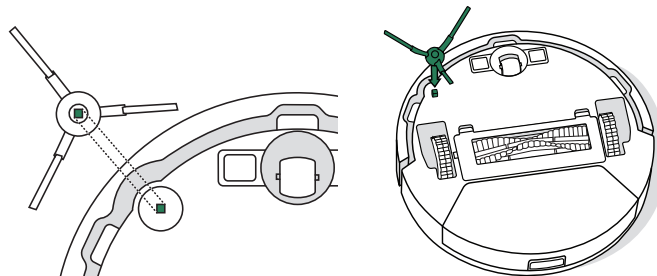
2 充電ステーションを設置する



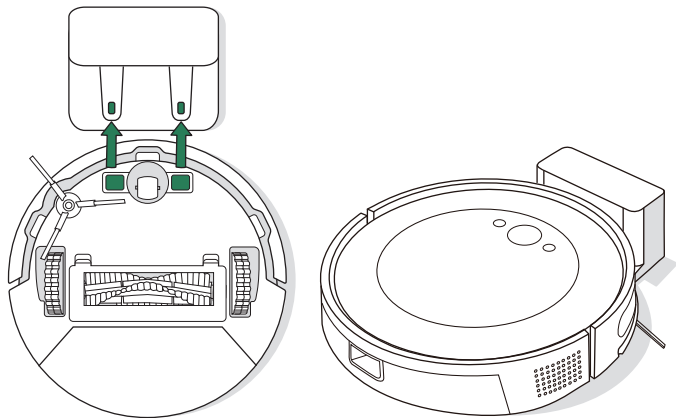
電源コードを充電ステーションに接続し、次に壁のコンセントに差し込みます。ロボットの通り道をふさがないように、電源コードを背面にまとめます。

3 エッジクリーニングブラシを取り付ける

エッジクリーニングブラシの位置を合わせ、カチッと音がするまで押し込みます。



4 ロボットを起動する



金属製の充電用端子の位置を合わせて、ロボットを充電ステーションに置きます。数分後に起動を知らせる音が鳴ります。



重要: ロボットをご使用になる前に、安全上のご注意をお読みください。

5 iRobot Homeアプリをダウンロードする

モバイルデバイスのカメラでQRコードをスキャンするか、アプリストアでiRobot Homeアプリを検索します。

- 説明に従いロボットを設定してください。
- 自動的に清掃を開始するスケジュールをセットしたり、清掃モード設定をカスタマイズしたりできます。
- 便利な使い方や、よくある質問と回答を検索できます。



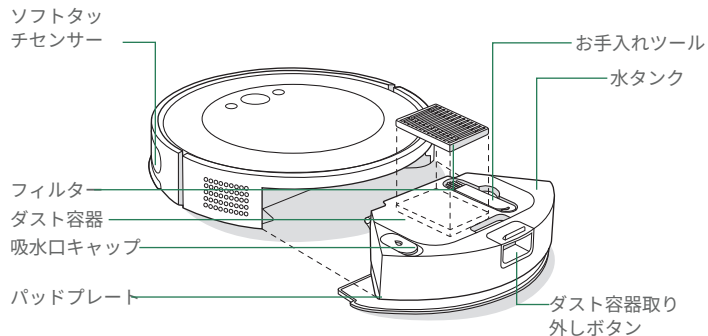
メモ:

5.0 GHz Wi-Fiは、このロボットでは使用できません。

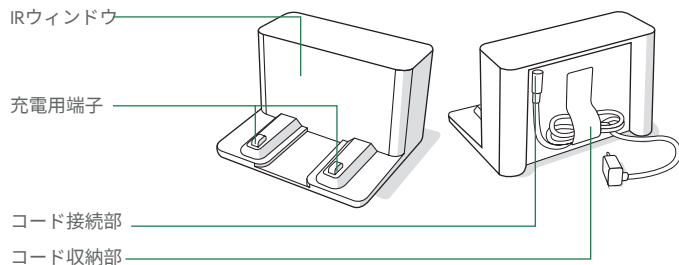


ロボットについて

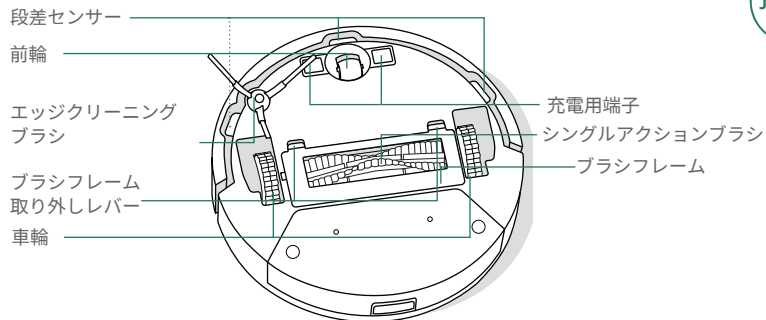
天面



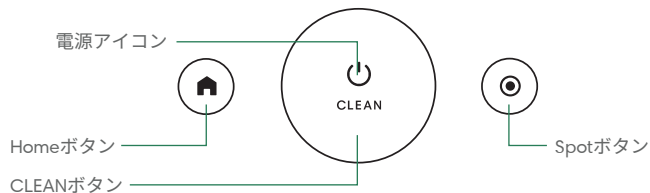
充電ステーション



裏面

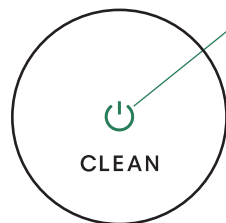


ボタンとアイコン



充電する

JP



充電中の電源アイコン

白色点灯:充電済み

白色点滅:充電中



メモ: ロボットは出荷時にある程度充電されていますが、購入後、初めて清掃する前に約4時間充電することをお勧めします。

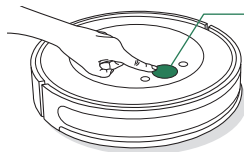
ロボットを充電ステーションの上に置いてバッテリーを起動させます。

清掃中に充電が必要になると、清掃はキャンセルされ、ロボットは充電ステーションに戻ります。

ロボットは、充電ステーションに置かれている間、ごく少量の電力を消費します。使用しないときは、ロボットをさらなる省電力状態にすることもできます。省電力スタンバイモードの詳細については、当社ウェブサイトの「よくある質問」をご覧ください。

長期間使用しない場合は、ロボット本体を充電ステーションから取り外し、 ボタンを9秒長押しして電源を切ります。ロボットは涼しく乾燥した場所に保管してください。

清掃する



ロボットのCLEANボタンを押します

開始/一時停止/再開するにはボタンを押します
清掃を終了するには2~5秒間長押しします

清掃パターン: ロボットが直線的な動きで部屋中を移動しながら清掃します。清掃終了時や、充電が必要なときには充電ステーションに戻ります。



清掃を開始する前に、床の上を片付けてください。床をきれいに保つため、ロボットは定期的にご使用ください。

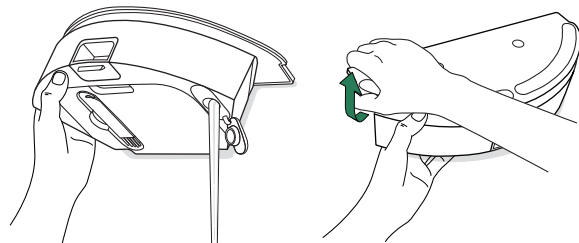
清掃を終了するには、CLEANボタンを2~5秒間長押しします。ロボットを充電ステーションに戻すには、ボタンを押します。

 ボタンを押すと、特定のエリアを清掃するSPOTモードになります。ロボットは直径約1メートルの範囲を中心から外方向にグルグルと円を描きながら清掃し、さらに内方向に清掃しながら開始した場所に戻ります。SPOTモードの清掃エリアから障害物をすべて取り除いてください。SPOTモードが完了すると、ロボットは清掃を終了します。ロボットを充電ステーションに戻すには、 を押します。

サイレントモード: サイレントモードでは、ロボットはスケジュール清掃を実行せず、充電1分後に電源アイコンが消灯します。サイレントモードは、アプリで有効または無効にできます。

掃除機がけ

- 1 掃除機がけを開始する前に、ロボットのタンクを空にしてモップパッドプレートとモップパッドを取り外します。



- 2 ロボットを床に置き、CLEANボタンを押します。

掃除機がけ&拭き掃除

モップパッドプレートとモップパッドが取り付けられていると、ロボットは掃除機がけと拭き掃除の両方を同時に行うことができます。

掃除機がけと拭き掃除を始める前に、拭き掃除をするエリアのカーペットを巻き上げるか取り除いて、部屋を掃除できる状態にします。



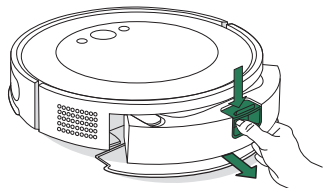
メモ: モップアタッチメントを取り付けてロボットを操作している場合、SPOTモードは使用できません。



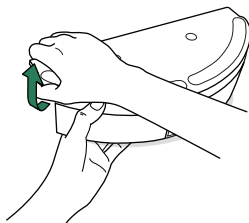
重要: 温水、洗剤、消毒剤などの液体はロボットの故障の原因となる恐れがあるので追加しないでください。

掃除機がけと拭き掃除が完了したら、必ず水タンクを空にして、モップパッドを交換してください。

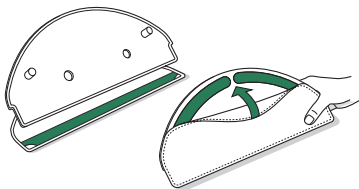
- 1 ダスト容器取り外しボタンを押して、ダスト容器を取り外します。



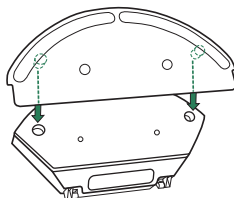
- 2 ダスト容器からパッドプレートを取り外します。



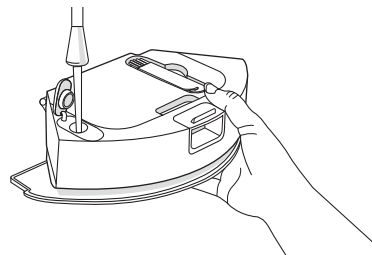
- 3 モップパッドを軽く湿らせて、パッドプレートに取り付けます。



- 4 ダスト容器にパッドプレートを再度取り付けます。



- 5 タンクがいっぱいになるまで200mlの水を入れます。



- 6 ダスト容器をロボットに取り付けます。
- 7 ロボットを床に置き、CLEANボタンを押します。

ロボットのお手入れ

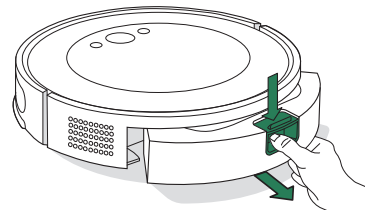
ロボットの性能を最適に保つために、以下の基本のお手入れとメンテナンス手順を定期的に行ってください。使い方の解説動画は、iRobot Homeアプリからご覧いただけます。ロボットの吸引力が低下したら、ダスト容器を空にして、フィルターやブラシを清掃してください。

部品	お手入れの頻度	交換時期の目安*
ダスト容器	必要に応じてダスト容器を空にする	-
水タンク	清掃後、毎回空にする	-
フィルター	週1回（ペットがいるご家庭では週2回）を目安に清掃	3～6か月ごと
エッジクリーニングブラシ	2週間に1回、または必要に応じて清掃する	3～6か月ごと
シングルアクションブラシ	週に1回を目安に清掃する	6～12か月ごと
前輪	2週間に1回、または必要に応じて清掃する	-
充電用端子	2週間に1回、または必要に応じて清掃する	-
センサー類	月に1回、または必要に応じて清掃する	-
モップパッド	拭き掃除後に都度洗浄	3～6か月ごと。使用できなくなったら、家庭ごみとして捨ててください

*使用状況により、交換時期の目安は異なります。部品の損耗が目で見える場合は、交換が必要です。交換部品が必要な場合は、アイロボットサービスセンターまでお問い合わせください。

ダスト容器を空にする

- 1 ダスト容器取り外しボタンを押して、ダスト容器を取り外します。



- 2 フタを開けて、ダスト容器を空にし、お手入れツールで清掃します。

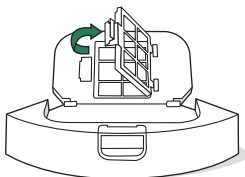


- 3 ダスト容器をロボットに取り付けます。

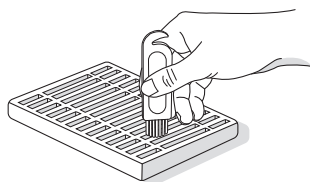
※ 重要: ダスト容器をすすいだり、水に浸したりしないでください。汚れがたまるように、定期的にダスト容器を清掃してください。

フィルターを清掃する

- 1 ダスト容器を取り外します。ダスト容器のフタを開き、フィルターを取り外します。



- 2 お手入れツールでゴミを取り除きます。



- 3 フィルターをダスト容器に戻し、ダスト容器をロボットに取り付けます。

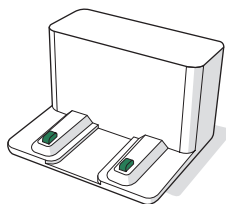
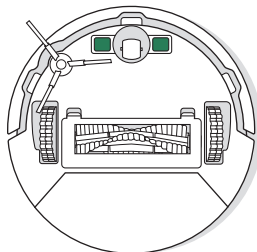


メモ: フィルターは水ですすぐことができます。再度取り付ける前に完全に乾燥していることを確認してください。頻繁なすすぎはお勧めしていません。

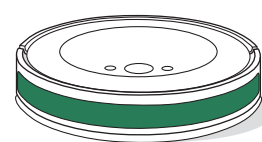
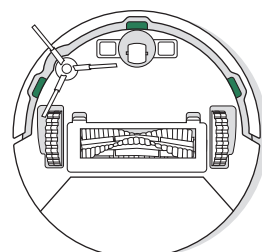
充電用端子をとセンサーを清掃する

充電用端子とセンサーを、乾いた清潔な布で拭いてください。

充電用端子



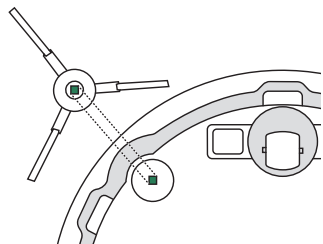
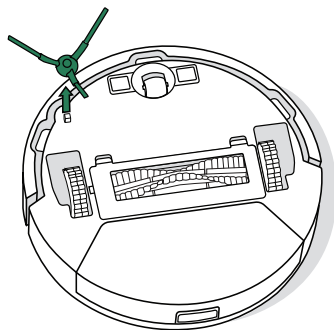
センサー類



重要: センサーに洗剤などを吹き付けしないでください。

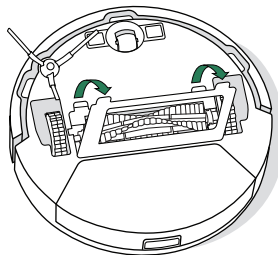
エッジクリーニングブラシを清掃する

エッジクリーニングブラシを取り外します。お手入れツールを使用して髪の毛やゴミを取り除きます。その後、クリーニングブラシの位置を合わせてカチッという音がするまで押し下げ、取り付け直します。

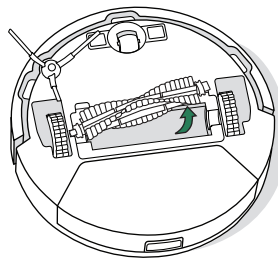


シングルアクションブラシを清掃する

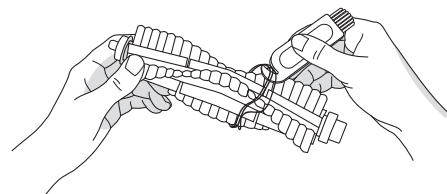
- 1 ブラシフレーム取り外しレバーを押し、ブラシフレームを持ち上げて取り外します。



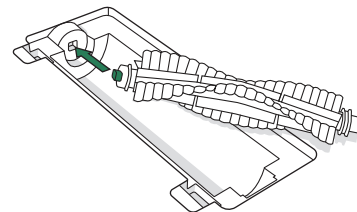
- 2 シングルアクションブラシを取り外します。



- 3 お手入れツールを使用して、シングルアクションブラシから髪の毛やゴミを取り除きます。

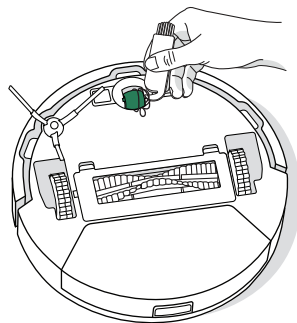


- 4 シングルアクションブラシとブラシフレームをロボットに再度取り付けます。



前輪部を清掃する

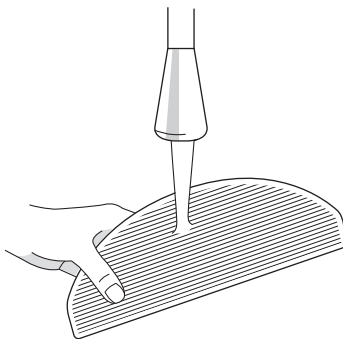
お手入れツールを使用して、前輪部から髪の毛やゴミを取り除きます。



重要: 前輪部に髪の毛やゴミが絡まっていると、床を傷つける可能性があります。お手入れしても前輪の動きが悪い場合は、サービスセンターまでお問い合わせください。

モップパッドを清掃する

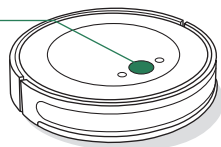
冷たい水でモップパッドをよく手洗いし、自然乾燥させます。



ロボットのトラブルシューティング

何らかの異常や特殊な状況が発生すると、エラー音が鳴り、電源アイコンが赤色に変わります。詳細については、CLEANボタンを押してください。さらにサポートが必要な場合はiRobot Homeアプリをご確認ください。

赤色の電源アイコン



バッテリー残量が低下しています。充電してください。

ロボットが清掃を終了したか一時停止しているのか分からない場合は、iRobot Homeアプリでステータスを確認してください。

バッテリーの安全基準と輸送



危険: リチウムイオンバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーを内蔵する製品には、厳しい輸送規制が適用されます。この製品を、修理、旅行、その他の理由で輸送する場合は、以下の手順に従う必要があります。

- 輸送時にはバッテリーの電源をオフにします。
- バッテリーをオフにするには、充電ステーションからロボットを取り外し、 ボタンを9秒間長押しします。すべてのアイコンが消灯します。
- ロボットを梱包して、輸送します。

その他サポートが必要な場合は、アイロボットサービスセンターまでお問い合わせいただくか、global.irobot.com/をご覧ください。





©2024 iRobot Corporation, 8 Crosby Drive, Bedford, MA 01730 USA. All rights reserved. iRobot、アイロボット、Roomba、ルンバ、Roomba Combo、ルンバ コンボはiRobot Corporationの商標または登録商標です。Wi-FiおよびWi-FiロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。AppleとApp Storeは、米国およびその他の国におけるApple Inc.の登録商標です。Google Playは、Google LLCの商標または登録商標です。



4837888 vB



アイロボットサービスセンター

製品に関するご質問やご意見がある場合は、アイロボットサービスセンターにご連絡ください。

<https://www.irobot-jp.com/>では、使用方法やよくあるご質問、付属品などに関する情報をご案内しております。この情報は、iRobot Homeアプリからもご覧になれます。さらなるサポートが必要な場合は、当社のアイロボットサービスセンターまでお電話ください。

アイロボットサービスセンター

TEL：0120-046-669（通話無料）

注意：修理のために交換した部品・付属品および製品は、弊社で引き取らせていただきます。製品を使用したことによって発生した損害については、製品の性質上、責任を負いかねます。製品は日本仕様です。日本国外で使用された場合、責任を負いかねます。

- 上記電話番号は、携帯からもご利用いただけます。
- 午前中は大変混み合いますので、比較的つながりやすい午後におかけください。
- 受付時間・曜日などについては、弊社ホームページ等でご確認ください。また弊社都合によりお休みさせていただくことがございます。予めご了承ください。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、次の目的で利用させていただきます。お問い合わせへの対応、アフターサービスの提供、製品およびサービスの品質向上のアンケート、キャンペーンその他イベントの案内(ダイレクトメール、電子メールを含みます)。詳細は <https://www.irobot-jp.com/policy/> をご確認ください。



4837887 vB

WC#: 4837889 vB